



第1947回 例会

2014-15年度RI会長: Gary C.K.Huang
第2640地区ガバナー: 辻 秀和
創立: 昭和49年5月15日
会長: 谷中 順次郎
幹事: 岡本 博
会報: 稗田 智則



VOL41 No. 12

2014年 9月24日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
きのくに信用金庫田辺支店3F
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 谷中 順次郎 会長

唱 歌

” 故 郷 (ふるさと) ”
野村 憲司 君



ゲスト

田辺市観光振興課 課長
小川 雅則 様

ビジター

田辺RC
木村 頼文 様

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
45名	3名	11名	73.81%
9月10日修正出席率 93.02%			

ニコニコ箱

(敬称略)

◇お世話になります 田辺RC 木村 頼文 様

◇田辺市観光振興課 課長 小川 雅則様をお迎えして
愛須 勝章、後藤 信博、本田 耕二、片井 貢
木村 寿一、丸山 博之、森本 修至、野村 憲司
岡本 博、佐田 一三、武田 静也、谷本 司
谷中 順次郎、玉置 和男、上原 俊宏、山本 亘
早稲田 清司、安井 忠雄

◇マニラより無事帰還しました。病気ちょっと持って
帰りました。 橋本 隆

◇先週行われたロータリークラブのゴルフで優勝しま
した。同伴者と運に恵まれたおかげです。

前回、うちの嫁が優勝でした。そして、両方とも
坂本正人さんが2位でした。結果的に私達夫婦が坂
本さんに万年2位というレッテルを貼ってしまった
みたいですね、申し訳ないです。

お詫びもかねて優勝賞金を全額ニコニコ箱に入れ
ます。坂本さん、またゴルフレッスンをお願いしま
す。 岩崎 泰人

◇佐田さん、額の傷どうしたんですか？けがあるんで
すね。 奥平 朋久

◇先日のクラブゴルフコンペで岩崎さんに又、優勝を
さらわれました。今度こそ頑張ります。 坂本 正人

◇お花頂きます 吉田 和枝

会長報告

■本日のお客様は田辺市観光振興課 課長 小川雅則様
をお迎えしています。後ほど宜しくお願い致します。

■9月27日(土)、ホテルサンルート関西に於いて「クラ
ブ米山記念奨学委員長会議および世話クラブカウ
ンセラー研修会」が開催されます。クラブ米山委員
長の佐田一三君と委員の玉置和男君、地区委員の坂本
正人君の3名に出席していただきます。ご苦労様で
すが、よろしくお願いいたします。

■9月27日(土)、ホテルグランヴィア和歌山に於いて
「クラブ意見交換会」が開催されます。幹事の岡本
君と武田静也君に出席していただきます。ご苦労様
ですが、よろしくお願いいたします。参ります。

■9月17日、臨時理事会を開催しましたのでご報告を致
します。
◎平野好史君から退会届提出について…承認致しま
した。

幹事報告

■例会日時変更

◎白浜RC

10月10日(金)→ 10月12日(日)18:30~
場所: ラフォーレ南紀白浜

10月17日(金)→ 休会

10月24日(金)→ 10月26日(日)10:00
場所: 河内長野市文化会館

◎御坊東RC

10月 1日(水)→ 休会

◎和歌山東南RC

10月 1日(水)→ 10月 3日(金)18:00～

場所：ニューオータニ東京

＜親睦家族旅行例会＞

10月 8日(水)→ 休会

10月22日(水)→ 10月22日(水)18:30～

場所：ルミエール華月殿 5F

＜和歌山中RCとの合同例会＞

10月29日(水)→ 10月29日(水)12:30～

場所：紀州技研工業

＜職場見学例会＞

◎和歌山南RC

10月31日(金)→ 10月30日(木)18:30～

場所：アバローム紀の国

＜和歌山城南RCとの合同例会＞

■回覧

◎週報「田辺RC」「那智勝浦RC」

◎「やおきジャーナル65号」

◎「ロータリーリーダー9月号」

◎田辺保健所衛生環境課より

「平成26年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動街頭キャンペーンについて（依頼）」

◎比国育英会バギオ基金より

「バギオ基金 第36回バギオ訪問交流の旅 募集要項」

◎ロータリー米山記念奨学会より

「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」

「2013年度 決算報告」「2013年度 事業報告書」

◎ガバナー事務所より

「今年度地区大会のご説明」「信任状（RI書式）」

「地区大会参加申込みについて」「送金明細書（改）」

◎「合同例会および米山奨学生の歓迎会のご案内」

日時：10月14日(火)午後6時30分～

■連絡

◎10月のロータリーレートは 1ドル＝106円 です。

◎来週の例会から10月に入りますので、上着着用での出席をお願いいたします。

◎堀会員からお花を頂きました。

「露草」有難うございます。



委員会報告

R財団委員長

前田 吉彦君



10月のロータリーレートが1ドル＝106円です。今月は102円です。よろしくお願いいたします。

プログラム

田辺市観光振興課長

小川 雅則 様



テーマ「世界的観光地を目指して」

～サンティアゴ巡礼道と

熊野古道を活用した観光戦略～

1. サンティアゴ巡礼道と熊野古道

2013年現在、世界には、160ヶ国、981件がユネスコの世界遺産に登録されていますが、その中でも数百キロにも及ぶ文化的景観を有する「道」として、世界遺産に登録されているのが「サンティアゴ巡礼道」と「熊野古道」の2例だけです。

【サンティアゴ巡礼道】

「サンティアゴ巡礼道」は、ヨーロッパ各地よりカトリック三大聖地の一つである、サンティアゴ市にある「大聖堂」を最終地とする「巡礼道」です。

主に、フランス各地からピレネー山脈を経由し、スペイン北部を通る道を指し、千年以上の歴史を持つ聖地への道は、今も年間約10万人が訪れています。サンティアゴ・デ・コンポステーラには、聖ヤコブの遺骸が祭られているため、古くからエルサレム、ローマと並んでカトリック教会で最も人気のある巡礼地であり世界中から巡礼者が絶えません。徒歩によるスペイン横断は、イベリア半島内でもおよそ800キロの道のりであり、長い巡礼を続けることは、人々にとって信仰と向き合う貴重な時間となっています。

【熊野古道】

熊野古道は、平安時代から江戸時代にかけて熊野三山の信仰が高まり、上皇や庶民に至るまで、「蟻の熊野詣」と例えられるほど多くの人々が熊野に参詣しました。

熊野古道にはいくつかのルートがありますが、多くの旅人が歩いたのは、京都から大阪・和歌山を経て田辺に至る「紀伊路」、そして田辺から山中に分け入り熊野本宮に向かう「中辺路」ルートです。

田辺市にある熊野本宮大社は、熊野古道が集結する熊野三山のひとつであり、多くの参詣者が目指す聖地となっています。

2. 日本とスペインの関係

【日本とスペインの関係】

◇1613年10月（慶長18年）

仙台藩主伊達正宗は、スペインに向けて支倉常長を大使とする、慶長遣欧使節団を派遣。同使節団は、

日本人として初めて太平洋と大西洋を横断し、1614年にスペインに到着。使節団の派遣は、スペインに対する日本からの最初の公式な使節団であった。

◇2013年6月～2014年7月

慶長遣欧使節団派遣400周年に当たることから、「日本スペイン400周年事業」を開催。

【世界遺産関係】

◇1985年（昭和60年）

サンティアゴ・デ・コンポステーラ旧市街地がユネスコの世界遺産に登録

◇1993年（平成5年）

サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼道が世界遺産に登録

◇2004年（平成16年）

紀伊山地の霊場と参詣道（熊野古道）が世界遺産に登録

【和歌山県の取組経過】

◇1998年10月（平成10年）

和歌山県とガリシア州が、「姉妹道提携協定書」締結

◇2012年7月（平成24年）

和歌山県とガリシア州の友好親善関係と連携強化に係る覚書締結

3. これまでの取組経過

◇2008年（平成20年）10月

田辺市の観光プロモーション団体である、「田辺市熊野ツーリズムビューロー」と、「サンティアゴ・デ・コンポステーラ市観光局」の民間団体同士が、「共同プロモーションに関する協定」を締結し、国際的な観光プロモーションを実施してまいりました。

◇2012年（平成24年）9月

サンティアゴ副市長と観光局代表が田辺市を訪問いただき、両市の観光交流協定の締結に向けた提案がされました。

◇2013年（平成25年）9月

サンティアゴ市長が田辺市を訪問いただき、2014年5月に観光交流協定を締結することを合意しました。

◇2014年（平成26年）5月13日

サンティアゴ・デ・コンポステーラ市において、観光交流協定を締結

◇2014年（平成26年）7月6日

田辺市において、観光交流協定にかかる覚書締結

4. 共通する2つの巡礼道

①共に古から続く、歴史的な巡礼道をもつ街

両参詣道の起源は共に10世紀と言われ、古より多くの巡礼者が歩いた道である。

②世界遺産に登録された2例のみの参詣道

数百キロにも及ぶ参詣道が世界遺産に登録さ

れているのは2例のみである。

③巡礼道が集結する聖なる場所

サンティアゴ大聖堂には巡礼道が終結し、熊野本宮大社には熊野古道が集結する。

④古の巡礼者が喜び、伏して拝んだ地

聖地を目の当たりにして、古の巡礼者は喜び、伏して拝んだ。

【サンティアゴ巡礼道】

大聖堂の5km手前にある「モンテ・デル・ゴン（歓喜の丘）」

【熊野古道】

熊野本宮大社の3kmほど手前にある「伏拝王子」

5. 観光交流協定調印式

田辺市と、スペイン国サンティアゴ・デ・コンポステーラ市は、本年が「日本スペイン交流400周年記念」の年にあたること、また、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録されて10周年を迎えること。

この記念すべき年に、両市が連携して、互いの「巡礼道」の魅力を世界に向けて発信し、「持続可能な観光地づくり」に取り組むために、本年5月13日に、サンティアゴ・デ・コンポステーラ市におきまして、「持続可能な観光地づくり」と「巡礼文化の世界発信」を柱とする観光交流協定を締結しました。

6. 世界遺産登録10周年記念日事業

平成16年7月7日、世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」が、本年10周年を迎えました。この貴重な資産を後世へと引き継いでいくためにその価値を改めて認識する機会とするとともに、その世界的価値を国内外に強く発信し、世界遺産のある田辺市の認知度向上と交流人口の増加を図ることを目的に開催。

平成26年7月5日（土）～6日（日）の2日間。

◇7月5日（土）

・熊野古道環境保全ウォーク（道普請ウォーク）

熊野古道を補修しながら歩くことで、世界遺産の価値を再認識するとともに、保全と継承の大切さを学ぶ機会とする。

◇7月6日（日）

・世界遺産登録10周年記念式典

【サンティアゴ・デ・コンポステーラ市との

観光交流協定覚書調印式】

レジェス・レイス副市長にお越しいただき調印式を執り行う。

主な柱は、

＊「観光資源を生かした観光プロモーションに取り組む」

＊「観光客や巡礼者がより自然にやさしい旅ができる環境を整える」

＊「観光を中心とした多様な交流促進を」

【世界遺産熊野本宮館の名誉館長委嘱】

作家の荒俣宏氏を名誉館長に委嘱し、熊野古道をはじめとした歴史文化を全国に発信する。

7. 今後の観光戦略

熊野の魅力は、千数百年の歴史にあり、地域が持つ精神性です。

- ◇「ブーム」より「ルーツ」
- ◇「インパクト」を求めず「ローインパクト」で
- ◇「マス」より「個人」
- ◇「乱開発」より「保全・保存」による活用

熊野古道とサンティアゴ巡礼の道は、千年以上の歴史と文化を有する巡礼道ですが、過去の遺産ではなく、今なお、世界中から多くの人々を引き付けてやまない魅力を持った巡礼の道です。「道」である以上、人が歩くことに大きな意義があり、持続可能な観光地を目指すためにも、自然環境に配慮した保全及び観光客や巡礼者がより自然に優しい旅が行えるような環境を整えることが重要であり、引き続き両市における取組を進めてまいります。

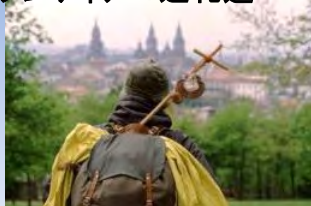
サンティアゴ巡礼道

聖地へと続くヨーロッパの巡礼道

サンティアゴへの道は欧州各地より、カトリックの三大聖地のひとつであるスペイン国ガリシア州サンティアゴ・デ・コンポステーラ市の大聖堂へと続いている巡礼道である。ルートとしては幾つかあるが、パリを起点とするフランスルートのピレネー山脈を越えたスペイン側約800キロは1993年、世界文化遺産に登録されている。



サンティアゴ巡礼道



歓喜の丘



熊野古道

熊野三山へと続く熊野古道

熊野古道は古から中世にかけて熊野三山(田辺市の熊野本宮大社・新宮市の熊野速玉大社・那智勝浦町の熊野那智大社)の信仰が高まり、上皇や庶民に至るまで「蟻の熊野詣」と例えられるほど多くの人々が熊野に参詣した。

熊野古道にはいくつかのルートがあり、その中でも多くの人々が歩いたルートは京都から大阪・和歌山を経て田辺に至る「紀伊路」、そして田辺から山中に分け入り熊野本宮に向かう「中辺路」で、約300kmの行程である。

熊野本宮大社は、熊野古道が集結する熊野三山のひとつであり、多くの参詣者が目指す聖地となっている。



熊野古道



伏拝王子



熊野本宮大社

